

まほろば



2019.5
第213号

看護学校入学式

私たち 1 年生は、期待と不安を胸に入学しました。先生方や先輩方は私たちを温かく歓迎してくれ、3 年間この学校で頑張りたいと強く思いました。クラスは明るい雰囲気、笑顔が絶えません。また社会人の方もいるので、様々な話を聞くことができ、日々勉強になります。さらにこの学校では自治会活動が活発であり、多くのクラスメイトや先輩方との交流を深めることができます。

入学してから 3 日程で授業が始まり、講義の 90 分という長さに苦戦しています。確かに集中力を持続させることは難しいですが、大事な点にマーカーを引いたり、講師の方が仰る興味深い点をメモしたりすることで講義に集中できます。また予習することで、講義が楽しくなります。これからの学習は大変になると思いますが日々勉強に励んでいきたいです。そしてクラス一丸となり、1 人 1 人の目標に向けて頑張っていきます。

弘前病院附属看護学校 1 学年：松本 恵



～二人の新人助産師を迎えて～

桜咲く4月、弘前病院は9名の新人を迎え、新年度をスタートしました。母子医療センターにも2名の新人助産師が仲間に加わりました。学生のころとは違い、多くの患者さんの看護と責任が求められます。まだまだ緊張の日々ですが、意気込みと抱負を二人に聞いてみました。

GCUに配属になり、小さい赤ちゃんとの関わりは緊張の連続です。

でも、大きくなって退院していくことに感動を覚えました。まだまだ未熟な私ですが、もっと勉強して、患者さんに寄り添える優しい助産師を目指したいと思います。 相馬 結



たくさん飲んでねー
と声をかけながら哺乳中。



先輩助産師
駒井みどりさんとツーショット。
今日も注射の練習をしました。

念願だった助産師として母子医療センターに配属になりました。

とにかく安全に配慮して日々赤ちゃんとお母さんに関わっています。先輩のような、笑顔で患者さんに必要とされる助産師になりたいと思います。 三上 怜華

一つひとつ、一人でできることが増えてきています。病棟スタッフ一丸となり、二人の成長を支えていきたいと思っています。赤ちゃんとお母さんと、すべての患者さまに優しい弘前病院を目指して、みんなで頑張っていきましょう！！

母子医療センター 看護師長：長尾 愛佳

永年勤続表彰式



4月24日、国立病院機構職員表彰規定により、永年勤続表彰された職員に対する「表彰伝達式」が行われました。今回は勤続30年の職員1名と20年の職員5名が対象となっています。伝達式へは3名が出席し、厳かな雰囲気の中、院長より受章した職員へ賞状と副賞の授与がありました。そ

の後、院長より長年にわたり勤務してきたことへの慰労と祝辞の言葉をいただきました。受章者を代表して三上統括診療部長より謝辞が述べられ、伝達式は終了しました。

私は、平成11年に職員になり、今回勤続20年の表彰を受けました。厳粛な伝達式に少し緊張しながら、勤務してからのことを考えていました。退職を悩んだことが一度ならずありますが、上司や先輩、同僚の教えや支えがあり、後輩にも新たな刺激をもらったことで、認定看護師という経歴につながったと思いました。

平成最後のこの年に表彰を受けたことに何か意味を感じます。さらに精進して新たな時代を迎える病院へ貢献していきたいと思っています。

感染管理副看護師長：對馬 春子

2020年度採用看護職員採用説明会に参加して

平成 31 年 4 月 13 日、仙台国際センターにて 2020 年度北海道東北グループ看護職員採用説明会が開催されました。その中で私は病院の 3 分間の紹介PR映像の作成を担当しました。弘前病院の魅力を制限時間内に伝えることは難しかったのですが、自分を大きく成長させてくれた病院の一員として是非多くの仲間を迎えたい一心で、一生懸命頑張りました。当日は自分の作成した映像に加え後輩スタッフのキュートなナレーションが加わ

り、会場の反応も上々で、弘前病院のブースにもたくさんの学生が訪れてくれました。来訪者は教育体制に興味を持っており、今後自分たちが先輩として後輩育成に携わる責任の大きさを痛感しました。弘前病院は 2022 年度に弘前市立病院と統合し 450 床の新しい病院に生まれ変わります。弘前病院で働きたいと夢を持って訪れてくれた仲間と一緒に弘前病院をもり立てていけるよう一層責任の重大さを感じた一日でした。

7階病棟看護師：木立 遼太



研修医便り

臨床研修医 1 年目の石橋光と申します。毎回何事も 1 年目研修医のトップバッターなので、緊張しています。何もわからない状態ですが、呼吸器内科の先生をはじめ、病棟・外来のスタッフの方々、研修医の先輩方や同期に助けられながら日々頑張っています。国立病院の先生方やスタッフのみなさんは本当に優しく、失敗続きの研修生活ですが楽しいです。

趣味はスポーツです。私は昔からサッカー、大学からはバスケットをやっていて、体力だけが取り柄なので、仕事でも飲み会でもびしばしご指導していただければ幸いです。

周りにはがちがちの体育会系で外科志望だと思われがちですが、興味のある科が多すぎて志望科は未定です。まだまだ未熟な点が多くお手数、ご迷惑をおかけすることが多いと思いますが精いっぱい頑張るので、2年間どうぞよろしくお願い致します。

臨床研修医：石橋 光



外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (令和元年5月13日現在)

| 診療科 | 区分 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|-----------|----|--------------------------|---------|--------------|--------------------|--------------|
| 循環器内科 | | 熊本秀樹 | 横田貴志 | 熊本秀樹 | 熊本秀樹 | 熊本秀樹 |
| 呼吸器科 | | 中川英之 | 山本勝丸 | 中川英之 | 山本勝丸 | 中川英之 |
| | | 山本勝丸 | 下山垂矢子 | 下山垂矢子 | 下山垂矢子 | 下山垂矢子 |
| | | 下山垂矢子 | 田中佳人 | 田中佳人 | - | 田中佳人 |
| | | - | 石岡佳子 | - | - | - |
| 消化器・血液内科 | | 松木明彦 | 相原智之 | 相原智之 | 松木明彦 | 相原智之 |
| | | 山口公平 | 山口公平 | 松木明彦 | 山口公平 | 山口公平 |
| | | 佐藤年信 | 千葉裕樹 | 佐藤年信 | 山下覚 | 佐藤年信 |
| | | 石黒陽 | 石黒陽 | 千葉裕樹 | 石黒陽 | 石黒陽 |
| 脳神経内科 | | 廣畑美枝 | 清野祐輔 | - | 清野祐輔 | 清野祐輔 |
| 小児科 | | 杉本和彦 | 佐藤工 | 敦賀和志 | 佐藤工 | 杉本和彦 |
| | | 敦賀和志 | 松本麻希 | 佐藤啓 | 杉田梓 | 佐藤啓 |
| | | 杉田梓 | 藤岡彩夏 | 藤岡彩夏 | 松本麻希 | 藤岡彩夏 |
| 外科 | | 柴田滋 | 内田知顕 | 柴田滋 | 内田知顕 | 三上勝也 |
| | | - | 堤伸二 | 堤伸二 | 堤伸二 | - |
| 乳腺外科 | | 小田桐弘毅 | 小田桐弘毅 | 小田桐弘毅 | 小田桐弘毅 | 小田桐弘毅 |
| 整形外科 | 午前 | 岩崎宏貴 | 秋元博之 | 秋元博之 | 中村吉秀 | 秋元博之 |
| | | 藤田有紀 | 中村吉秀 | 岩崎宏貴 | 藤田有紀 | 岩崎宏貴 |
| | | 猿賀達郎 | 藤田有紀 | 猿賀達郎 | - | 佐々木静 |
| 脳神経外科 | | - | - | 木村正英 | - | - |
| 皮膚科 | 午前 | 熊野高行 | 佐藤正憲 | 佐藤正憲 | 熊野高行 | 熊野高行 |
| | | 佐藤正憲 | 熊野高行 | 熊野高行 | 佐藤正憲 | 佐藤正憲 |
| | 午後 | ● 予約 | ● 手術/検査 | ● 予約 | ● 手術/検査 | ● 予約 |
| 泌尿器科 | 午前 | 成田拓磨 | 成田拓磨 | 成田拓磨 | 成田拓磨 | 成田拓磨 |
| | 午後 | 検査 | 検査 | 手術 | 検査 | 手術 |
| 産婦人科 | | 飯野香理 | 金森正紘 | 松村由紀子 | ● 妊婦健診 (一般外来休診) | 飯野香理 |
| | | 松村由紀子 | 丹藤伴江 | 丹藤伴江 | | 追切裕江 |
| 眼科 | | 蒔苗順義 | 蒔苗順義 | 蒔苗順義 | 蒔苗順義 | 蒔苗順義 |
| 耳鼻咽喉科 | | 西澤尚徳 | 西澤尚徳 | 西澤尚徳 | 西澤尚徳 | 西澤尚徳 |
| 放射線科 | 診断 | 佐々木幸雄 | 佐々木幸雄 | 佐々木幸雄 | 佐々木幸雄 | 佐々木幸雄 |
| | 治療 | - | - | 川口英夫 (午後) | - | 川口英夫 (午後) |
| 女性専用外来 | | 杉本菜穂子(※予約制/第1・第3水曜日午後診療) | | | | |
| セカンドオピニオン | | - | - | - | 休診 | - |

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

※ セカンドオピニオン外来は当分の間休診となります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

かせ
施風となれ 希望の世代 「令和」かな

(イシザワ)

60歳 もう部品がないという

(チロル)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘 毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>